

あなたの「ふるさと納税」が社会課題解決に繋がります。
ガバメントクラウドファンディングで、みなさまのご支援をお願いいたします！

まちなか「えんがわベンチ」プロジェクト



岐阜の街に気軽に休める『ベンチ』を増やしたい！

障害のある仲間と歩く中で気づいた、
『座れる場所』が少ないこと。



わたしたちは障害のある仲間たち(いぶきでは障害のある利用者さんを、「仲間」と呼んでいます)と、日々リハビリや体力づくりをかねて散歩に出かけます。施設の近所を歩いたり、公園を歩いたり。仲間たちも散歩好きです。でも、歩けば疲れて、腰を下ろしたくなることもしばしば。
「ここで少し休めれば、もう一歩がんばれるのに…」そう思うことが日常にあります。「出掛けたいけど、徒歩では大変だから…、またにしようか」そんなことが続くと、体力の低下をまねき、ますます外出がしにくくなります。さらに、人との交流が減り、近くに住む人にしばらく会わなくても不思議に思えない、そんな社会となってしまいます。

わたしたちのめざす街

いつもの帰り道、ちょっとベンチに腰掛けて休憩していたら、「今日はどうだった？」と声をかけてくれる畑作業中のおじさん。「お仕事ごろうさまです」とあいさつしたくなります。買い物帰りに休憩していたら、同じように荷物を抱えた人が隣にすわると、自然に話がうまれます。障害のある仲間たちが休憩していても、「今日も元気だね」と一緒に休む顔馴染みができるかもしれません。そんな風景があちこちにうまれたら、いつもの場所で見かける、いつものあの人。いつもがんばって歩いている障害のある仲間たち。この街の中にはいろんな人がいることに自然と気づきます。

災害に強い地域へ

街にゆるやかな交流が生まれると、災害時にも、「いつも見かけるあの人は？」と地域の人がお互いを意識し合い助け合うことができます。気軽に歩いて出かけやすい街には、人の姿が増え、誰かに出迎え、お互いに助けあえる、しなやかな強さをもった街となるのです。



「えんがわベンチ」があいだをつなぐ

昔の日本家屋にはえんがわが多く見られました。気軽に腰を掛け世間話をし、他愛のない会話からお互いのことを気にかけてあう暮らしがありました。えんがわは内でも外でもない、あいだの場所。人と人の間を結ぶ、そんな場所だからこそ、緩やかだけれど確かなコミュニティが生まれてきます。私たちは、気軽にほっと一息つけて、ゆるやかなつながりを育むベンチを「えんがわベンチ」と名付けて、岐阜のまちに広げたい！
このプロジェクトにぜひご参加いただけませんか？

返礼品は団体応援

障害のある人の仕事
づくりの支援になります。



岐阜県食材を沢山使用した身体に優しいいぶきの商品です。

★募集期間：2025年10月13日～2026年1月10日
★目標金額：240万円 ※ご支援金額：5,000円～

ご支援方法 ふるさとチョイスプロジェクトページ <https://www.furusato-tax.jp/gcf/2564>



右のQRを読み込み
プロジェクト
ページから

返礼品を選んで
寄付する

必要事項を入力
完了！



※岐阜市民の方には制度上、返礼品をお届けすることができませんが、わが街の地域を良くする活動への寄付になります。

「ふるさと納税」を利用すると、少ないご負担で高額の支援が可能です。

控除上限額内で寄付を行うと、寄付額から2,000円を引いた額の税の控除(還付)を受けることができます。

※上限額は、個人によって異なり、納税額や家族構成、年収などによって決まります。

※ガバメントクラウドファンディングとは、自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄付金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、共感する方から寄付を募る仕組みです。

お問い合わせ
説明会のご依頼も承ります

社会福祉法人いぶき福祉会
岐阜市島新町5番9号

TEL: (058) 233-7445

メール: ibuki.m@ibuki-komado.com

担当: 永田・森・北川